目次

刊行にあたって　山本登朗

仙女譚から『伊勢物語』へ
——「かいまみ」を手がかりに——　山本登朗

『伊勢物語』の形成とその背景　今西祐一郎

〈業平〉と〈海人〉
——敗者文学としての『伊勢物語』——　本田恵美

〈紫式部〉による『伊勢物語』の引用と変換　高橋　亨　四五
女性読者と平安初期の王朝恋愛物語
——白描伊勢物語絵巻断簡を中心に——　ジョシュア・モストウ［李　スミ　訳］　六五
『異本伊勢物語絵巻』本文再説　片桐洋一　一二三
『伊勢物語』『竹取物語』から『小町草子』へ
——富士山のイメージをとおして——　小嶋菜温子　一三七
愛の色—謡曲『杜若』の分析　スーザン・ブレークリー・クライン［北大路沙良　訳］［肥爪　淳子　訳］　一四七
幽玄に読みなす物語
——『肖聞抄』における『伊勢物語』の読み解きをめぐって——　海野圭介　一七九

『伊勢物語』における奈良絵本・絵巻　石川　透　二〇七
静嘉堂文庫所蔵「伊勢物語絵巻」——紹介とその位置づけ——　青木　賜鶴子　二二一
筒井筒の風景　藤島　綾　二四五
近世初期・前期の散文文学における『伊勢物語』の書き直し、パロディーおよび新展開　ラウラ・モレッティ　二六九
浮世絵の中の伊勢物語絵　仲町　啓子　二〇三
あとがき　ジョシュア・モストウ　三二七